

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科	
科目名称 [英語名称]	環境関連法 [Laws Related to Environment]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	710060	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次	
教員氏名	伊藤慎一郎				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(2) DP3(3)		
授業概要	<p>気候変動や生物多様性等の環境問題は、現在、国際社会が連携して取り組む責務となっており、国内では幅広い領域での技術者が求められています。本講義では、環境及び造園関係の実務を遂行していく上で求められる環境関連法について、現状や課題、実施事例を通して理解を深めます。</p> <p>また、環境及び造園関係の重要資格を取得するうえでも環境関連法を習得することは必須となっており、国際法から国内の環境関連法規、及び造園関連法規まで一貫して幅広く学習します。</p> <p>英国でランドスケープアーキテクトとして庭園・景観設計やまちづくりを行ってきた実務経験を踏まえた講義内容から、環境及び造園関連の日本との相違点や課題点等を事例を通して学ぶことができます。</p>							
関連する科目	<p>・本授業履修前は環境哲学、環境科学、造園学概論の受講が望ましい。・本授業履修後は環境調査及び再生論、環境緑地実習、環境保全専門実習、都市計画論、都市緑地論の受講が望ましい。</p>							
授業の進め方と方法	<p>・テキストやパワーポイントにより環境関連法の概要や歴史を学習し、現状や課題、実施事例について理解を深める。</p> <p>・本講義で学んだ法規関連を今後の日常生活、仕事等にどのように活かしていくか、グループワーキングを行う。</p> <p>・本講義で学んだことを通して、現在ある社会的課題解決に向けて、自らの考えをレポートにて提出する。</p>							
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション① 1. 授業計画の説明(環境法規関連) 2. 資格試験における環境関連法の活用術</p> <p>第2回 オリエンテーション② 1. 実務における環境関連法の活用例 2. 環境デザインの現状</p> <p>第3回 国際条約関連 1. 国際条約関連の概要と歴史 2. 気候変動枠組条約</p> <p>第4回 国際条約関連 1. 生物多様性条約 2. ラムサール条約</p> <p>第5回 国際条約関連 1. ワシントン条約 2. 世界遺産条約</p> <p>第6回 国内法(環境法規関連) 1. 環境法規関連の概要と歴史 2. 環境基本法</p> <p>第7回 国内法(環境法規関連) 1. 循環型社会形成推進基本法 2. 地球温暖化対策推進法</p> <p>第8回 国内法(環境法規関連) 1. 自然環境保全部 2. 自然再生推進法</p> <p>第9回 国内法(環境法規関連) 1. 鳥獣保護法 2. 種の保存法 3. 外来生物法 4. 環境影響評価法 5. その他</p> <p>第10回 オリエンテーション③ 1. 授業計画の説明(造園法規関連) 2. 造園デザインの現在</p> <p>第11回 造園法規関連 1. 造園法規関連の概要 2. 都市公園法 3. 自然公園法</p> <p>第12回 造園法規関連 1. 景観法</p> <p>第13回 造園法規関連 1. 都市計画法 2. 都市緑地法</p> <p>第14回 建設業法規関連 1. 建築基準法 2. 労働基準法 3. 労働安全衛生法 3. その他</p> <p>第15回 グループワーキング 1. 環境関連法に係るグループワーキング</p>							
授業の到達目標	<p>1. 国際法、国内法における環境関連法を一貫して理解する。</p> <p>2. 環境関連法が実社会で運用されている事例を理解する。</p> <p>3. 環境関連法の背景や課題、問題点を学び、今後の環境施策のあり方を理解する。</p>							
授業時間外の学修	<p>【予習】次回の講義範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく。 【復習】</p> <p>講義で学んだ内容の要点を整理し、社会の出来事や自身の日常生活との関連や課題について考察する。実際に意識して街並みを歩いてみることで、スケール感を理解する。</p>							
課題に対するフィードバック	・グループディスカッション・レポート(授業完了後) レポート提出後、学生へ(解説に相当する)資料等を渡す	評価方法		以下の項目に基づいて評価します。  1) 学習意欲(授業中) - 50点   2) レポート - 50点				
テキスト	自作した環境関連法や国・自治体等が提供するテキストを使用							
参考書	・自然環境やビオトープの保全・再生に関する資料   都市計画や造園施工管理に関する資料							
備考								